

(別紙)

平成19年3月2日
内閣府食品安全委員会事務局

「食品に関するリスクコミュニケーション EUにおけるリスクコミュニケーション
研究の最前線 - EU Safe Foods プロジェクトの取組 - (仮題)」(東京)の開催と
参加者の募集について(お知らせ)

食品安全委員会では、平成15年7月の発足以来、リスク分析の考え方にに基づき、食品等に関するリスク評価及びリスクコミュニケーションに取り組んでまいりました。

食品の安全性確保のためには、すべての関係者が関わり、情報や意見を交換していくリスクコミュニケーションが非常に重要です。しかし、消費者、生産者、食品関連事業者、行政機関等、立場が異なる関係者間では、コミュニケーションがうまく取れないことがあります。そのため、食品安全委員会では、リスクコミュニケーション専門調査会での審議やリスクコミュニケーションに関する調査事業等を通じ、効果的なリスクコミュニケーション手法等について、検討を進めているところです。

今般、食品安全委員会では、英国食品研究所(IFR)から、リスクコミュニケーションやリスク認知等を研究されているジュリー・ホートン研究員をお招きし、意見交換会を行うことといたしましたのでお知らせいたします。ホートン研究員は、食品の安全性に関するリスクコミュニケーション手法や、消費者と専門家の認識の差をどのようにコミュニケーションの中で解消していくか等、多岐にわたって研究されています。また、EU(欧州共同体)のプロジェクトの1つである「Safe Foods」にも参加され、食品安全に関する消費者のリスク認知、行政機関への信頼性確保等について、デンマーク、ドイツ、ギリシャ及び英国における比較文化調査研究を行い、昨年調査結果を公表されています。

ホートン研究員の御講演後は、関澤純リスクコミュニケーション専門調査会座長や野村一正食品安全委員会委員からコメントを頂き、その後、会場の皆様との意見交換の場を設ける予定です。

1. 開催日時：平成19年3月19日(月)14時00分～17時00分

2. 会場：星陵会館(別紙地図参照)
東京都千代田区永田町2-16-2

3. 主催：食品安全委員会

4. 参加者：約200名

5. テーマ：EUにおけるリスクコミュニケーション研究の最前線
- EU Safe Foods プロジェクトの取組 - (仮題)

6. プログラム(予定)[日英同時通訳有]

講演

ジュリー・ホートン氏 (英国食品研究所消費科学グループ研究員)

パネルディスカッション

コーディネーター

野村 一正 (食品安全委員会委員)

パネリスト

ジュリー・ホートン氏（英国食品研究所消費科学グループ研究員）

関澤 純（食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会座長）

会場参加者との意見交換

7. 参加者の募集

参加を御希望の方は、平成19年3月14日（水）正午までに、別添のとおり、氏名、住所、電話番号、FAX番号、勤務先を御記入の上、FAX、ハガキ、インターネットで下記にお申し込みください。ハガキによる申込の場合は官製ハガキで3月9（金）必着にてお願いいたします。希望者が多い場合は、先着200名で締め切らせていただく場合がありますので御了承ください（参加費無料）。

また、参加の可否については、FAX又はハガキにより連絡いたしますので、参加できる旨のFAX又はハガキを受け取った方は、意見交換会当日、会場受付で、当該FAX又はハガキ、及び身分を証明するものを御提示ください。

なお、氏名・住所等は、当方から必要に応じて御連絡させていただく場合や会場での参加確認のため、また、どのような立場の方々が参加されているのかを把握するためにお尋ねしております。

（申込先について）

申込先：「食品に関するリスクコミュニケーション（東京）」事務局

・FAXでの御応募：03-3263-8687

・ハガキでの御応募：

〒102-0075 東京都千代田区三番町2 三番町KSビル

・インターネットでの御応募：食品安全委員会ホームページ(<http://www.fsc.go.jp>)
で3月2日（金）17:00から受付開始

（受付：<http://www2.c-linkage.co.jp/risk/>）

問い合わせ先：「食品に関するリスクコミュニケーション（東京）」事務局

TEL 03-3263-8698

（受付時間 9:30～17:00 土日・祝日を除く）

業務管理委託先：株式会社コンベンションリンケージ 責任者：下之園

食品安全委員会では、事務効率改善の観点から、一般競争入札制度のシステムにより決定された民間企業に、会場の確保、参加者受付などの一部業務について、その業務の管理を委託して実施しております。

なお、食品安全委員会から意見交換会の実施事務に関して業務委託を受ける民間企業に対し、今後とも食品安全委員会として適切な指導・監督を行い、個人情報及びその管理に努めてまいります。

【報道関係者の皆様へ】

・意見交換会は公開といたします（カメラ撮り可）。

・参加を希望される報道関係者につきましては、会場設営の都合上、申込期限（平成19年3月14日（水）正午までに、「食品に関するリスクコミュニケーション（3月19日東京）参加希望」を明記し、会社名、氏名、TVカメラの有無、電話番号、FAX番号、住所、参加人数を記入（様式自由）の上、上記申込先まで御連絡ください。

(別添)

「食品に関するリスクコミュニケーション(東京)」
EUにおけるリスクコミュニケーション研究の最前線
- EU Safe Foods プロジェクトの取組 - (仮題) (平成19年3月19日開催)

参加申込書

フリガナ 氏名	住所(都道府県から)	Tel番号(市外番号から) Fax番号	フリガナ 勤務先 所属団体等
	勤務先 自宅 〒 _____ - _____	Tel Fax	
	勤務先 自宅 〒 _____ - _____	Tel Fax	
	勤務先 自宅 〒 _____ - _____	Tel Fax	

ハガキでのお知らせに間に合わない場合、Faxでのお知らせとなりますので
Fax番号は必ず御記入願います。

(Fax通知が困難な方への御連絡はできかねますことを御了知ください。)

・該当する番号に一つだけ を付けてください。

- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1) 消費者団体(生活協同組合関係者など) | 2) 無職、主婦、学生 |
| 3) 生産者(農林水産業など) | 4) 食品関連事業者・団体(加工、流通、販売など) |
| 5) マスコミ関係者 | 6) 行政(自治体職員、独立行政法人等職員など) |
| 7) 食品関連研究・教育機関(教員、研究職員など) | |
| 8) その他(具体的に御記入ください) |) |

なお、この用紙は、平成19年3月9日(金)正午までに提出いただきますようお願いいたします。

Fax送信先: 「食品に関するリスクコミュニケーション(東京)」事務局
03-3263-8687

講演者プロフィール

< 講演者 >

ジュリー・ホートン氏 (Ms. Julie Houghton)

英国食品研究所研究員

イーストアングリア大学社会・社会考古学士、同大学医療社会学修士。同大学環境リスク管理センター上級准研究員、医学部研究員等を経て、2004年から英国食品研究所消費科学グループ研究員。

リスク認知、リスクコミュニケーション及びそれらの調査手法開発等を研究分野として活躍しており、論文多数。最近では、「食品リスク管理の効果に関する消費者の認識：比較文化研究」(2006年、共著)、「食品安全リスク管理の実例：消費者及び専門家の認識」(2006年、共著)、「主要関係者間の商品安全リスク管理に関する認識」(2006年、共著)などを発表している。

2004年から欧州共同体出資による「Safe Foods」プロジェクトに参加し、効果的なリスク管理のための消費者のリスク認知や各国の比較調査研究等を行っている。

英国食品研究所 (IFR) とは？

The Institute of Food Research

保健、健康に資するため、食品及び食品に由来する疾病管理等について、国際的なリーディング機関として1986年設立。BBSRC (遺伝子工学生物学研究委員会) の出資による非営利公益機関。食品に焦点を置いた英国における唯一の統合基礎科学研究機関。

世界的にも公式、非公式に研究協調を行っている。研究成果は、英国だけでなく国際的政策に活用されており、英国政府、公的機関、行政当局、業界及び消費者へのアドバイス、解決策の提示等を行っている。

所在地は英国ノリッジ。

IFR ホームページ <http://www.ifr.ac.uk/>

Safe Foodsとは？

新しい統合的なリスク分析により食品安全を推進するEUの第6期フレームワークプロジェクトの1つ。多様な学術的アプローチにより食品安全に関するリスク分析手法を向上させ、フードチェーンに対する消費者の信頼回復を目的とする。

Safe Foods ホームページ <http://www.safefoods.nl/default.aspx>